

# 12月定例会発言通告締め切られる



# 議員定数問題で市民の声が反映する議会のあり方を考える

## 米原市民報

日本共産党米原市議団  
清水隆徳 Tel.52-1969  
藤田正雄 Tel.55-1128  
太田幸代 Tel.54-2286

http://www.jcp-maibarashigidan.com

12月1日から開催される2016年第4回定例会の発言通告が締め切れ、議事運営委員会が開催されました。今回の一般質問については10人となり、前回(15人)に比べやや物足りない議会となりました。また今回、11月24日の議員全員協議会で提案のあった議員定数見直しの取り扱いが協議されました。

### 共産党議員団の一般質問発言通告

◎藤田正雄議員

12月6日・1番9時30分  
予定

1、米原市の「就学支援制度」のあり方について問う。

2、米原市職員の「人事評価制度」の実施状況について問う。

◎清水隆徳議員

12月6日・3番11時予定

1、米原駅周辺の宅地開発について問う。

◎太田幸代議員

12月6日・7番4時予定

1、乗合タクシーの運用改善を求めて。

2、子どものインフルエンザと高齢者の肺炎球菌感染症の予防接種について。

ぜひZTVや議会(山東庁舎)で傍聴ください。

### 議員定数見直しの取り扱い

11月24日の議員全員協議会で議員定数の見直し提案され、議会運営委員会でも対応を検討することが協議されました。11月29日の議会運営委員会で、議長より検討の諮問があり、今後のスケジュール、定数審議会の設置、日程調整等が行われました。

来年10月の市議会議員選挙での実施には、市民の周知期間も必要であり、タイトなスケジュールとなることとが事務局より説明されました。改正するとすれば来年3月定例会には新たな定数条例の可決が必要となり、今12月議会での議員定数審

### 共産党の2015年地方選挙公約抜粋

次は、2015年2月のいっせい地方選挙での日本共産党アピールの抜粋です。基本的考え方です。

第四の対決点―地方の衰退を加速する「集約化」か、住民自治と自治体機能の再生か

安倍政権は「地方創生」の名で、自治体再編をねらった地方切り捨ての「集約化」をすすめるようとしています。

安倍政権が掲げる「集約化」は、公共施設や行政サービスを「拠点都市」に統合し、身近な住民サービスの低下と周辺部の切り捨てをすすめる、地方の衰退を加速させるものです。その先には、新たな自治体再編や道州制がねらわれています。

―地方の政策・方針決定、意思決定の場に女性の平等な参加を保障するとともに、地方自治体、議会における女性差別やハラスメントをなくします。

―住民の声を議会に反映する道を閉ざす議員定数削減に反対します。多様な意見と民意が反映できる議員定数・選挙区制度にし、都道

府県議会などでの定数1、2などの選挙区は合区するなど改善をはかります。

―政務活動費の領収書の住民への開示方法の改善など、透明性の向上・徹底をはかります。住民感覚からかけ離れた高額な議員報酬や政務活動費は適正化します。税金を使った観光旅行となっている海外視察は廃止します。

―地方議会が本来の住民の代表機関としての役割をはたせるよう、少数会派・議員の質問や発言の権利の尊重、審議時間の十分な確保、審議内容や政務活動費などの住民への徹底した公開などをすすめます。

### 米原革新懇学習会のご案内

- 1、日時 12月4日(日) 14時〜16時
- 2、場所 山東公民館 米原市長岡
- 3、内容 「中国東北部・台湾の平和連帯の現地訪問報告会」

講師 宮川一男氏(米原革新懇共同代表) 堀内良孝氏(同)

参加料は無料です。是非みなさん参加ください。



### 雑感

議員定数は現在20名です。しかし、本会議での質問者は、前回は15名でしたが、前々回は7名、今回は10名です。年4回の定例会本会議での執行部への質疑・質問は議員活動で自己や会派の考え方を市民の前で述べる重要な場です。多くの市民が「定数削減」を当たり前とする原因はどこに。